

【準備するもの】

- ・ケレン
(床を削る)



- ・ほうき
(掃除道具)



- ・ヘラ
(ゴムベラ推奨)



- ・ハケ
(防汚コート塗る)



- ・養生テープ
(布テープ推奨)
- ・電動攪拌機
(粉と液を混ぜる)



- ・防汚コートを入れる容器



↑ ↓
どちらか

- ・ローラー
(防汚コート塗る)

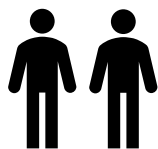


【必ずお読みください】

作業時間



1人：約8時間



2人：約4時間

施工時注意すること



雨（雨が降りそうな時）の日
は施工しない

- ・床に垂れた場合は乾燥前に拭き取る
- ・施工後、手で触わってつかなければ次の工程に進む

材料が残った場合

・攪拌後のストロングラインには、ビニールで空気の当たらないようにするなど保存をお願いします。
ストロングラインの水分量がへらないよう、なるべく早く残った材料はお使いください。

ストロングラインST18000

施工要領書



施工動画

ストロングラインは下塗・上塗を行い、その後防汚コーートを塗装することで汚れ防止になります。

【姿見】

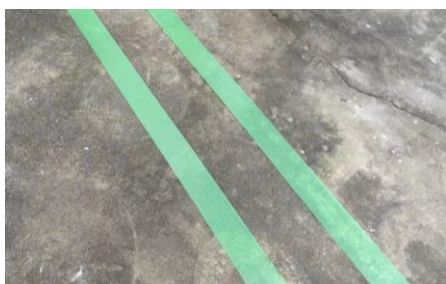


★初めにやること

塗装する箇所の汚れを掃除します
(油脂類は溶剤拭きで除去)



1. 塗装箇所の周りを養生します



2. ①主液を本体に入れて混ぜ合わせます (粉が底で沈殿しないように、よくかき混ぜます)

*電動の攪拌機推奨



3. ストロングラインを塗装箇所に適量置き、 塗装膜約0.5mmになるよう均一に伸ばす *金 ゴテ、ヘラなど ◎ヘラは水で洗う



4. 均一にしたら、ストロングラインが 乾燥する前に養生を取ります。



5. しっかりと乾燥させます

(気温20℃：1.5時間、気温10℃：3時間を目安)
手で触って、つかなければO

*下塗乾燥後、
1.3.4.5をもう一度行います(上塗)

6. 防汚コーートをよく攪拌してください。 ストロングライン上塗乾燥後、再度養生をして 防汚コーートを塗装します。(刷毛、ローラーなど) 塗装後、養生を剥がし、乾燥させます。



《ポイント》

- ・塗料ではありません。ネタを配る、ネタを乗せる感覚で施工してください。
- ・塗装直後は下地が透けていますが、乾燥後は見えなくなります
- ・ストロングラインの塗膜厚が厚いと、剥離のおそれあり

《施工の注意事項》

- ・素地は十分に乾燥させてください（含水率10%以下、ph10以下）
- ・結露、露、雨、霜などの上から塗装すると剥離、不完全乾燥の恐れがあります
- ・気温5°C以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください
- ・強風時や降雨、降雪のおそれのある場合は塗装を避けてください
- ・使用前の攪拌を十分に行い、均一にしてから塗装してください
- ・たれ、塗り残しがないように均一に塗装してください
- ・ネタが垂れた場合、乾燥前に拭き取るかケレンで取り除いてください
- ・本商品の性質上、乾燥途中で白色になっていきます
- ・仕様の各数値は、標準的な数値です。素地の形状や形態、塗装方法、環境などにより増減するすることがあります

《取扱い上の注意事項》

- ・取扱い中は、必要に応じて下記の保護具を着用してください。防塵マスク、頭巾、保護めがね、長袖の作業衣、襟巻タオル、保護手袋、前掛けなど衣服に付着すると、取れなくなる可能性がありますのでご注意ください。
- ・容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。
- もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取り処理してください。
- ・皮膚に付着した場合には、石鹼で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診療を受けてください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、早く医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- ・取扱い後は、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- ・塗料容器は、40°C以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所での保管は避けてください。（雨水や直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、潮風の当たる場所、凍結の恐れのある場所など）
- ・捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。
- ・取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。

【製造会社】 株式会社アムールハウス

【住所】 岐阜県本巣市仏生寺868番地266

【TEL】 058 337 0171

【FAX】 058 260 3898

【Mail】 sano@amuru-house.com

【HP】 <http://amuru-house.com>

